

【資料】

1. 調査団員・氏名
2. 調査工程
3. 関係者（面会者）リスト
4. 討議議事録（M/D）
5. ソフトコンポーネント計画書
6. 参考資料
7. その他の資料・情報

資料 1 調査団員・氏名

資料1 調査団員・氏名

	氏名	役職	所属
1	羽鳥 祐之	総括	独立行政法人 国際協力機構 国際協力専門員
2	谷口 光太郎	計画管理Ⅰ	独立行政法人 国際協力機構 地球環境部 森林・自然環境保全第一課 職員
3	松江 真美	計画管理Ⅱ	独立行政法人 国際協力機構 地球環境部 森林・自然環境保全第一課 ジュニア専門員
4	山崎 秀人	業務主任／森林管理計画 ／運営維持管理計画	国際航業株式会社
5	鈴木 正志	植林計画Ⅰ／土地利用	国際航業株式会社（補強）
6	宇田川 弘勝	植林計画Ⅱ	国際航業株式会社
7	デクスター・ キャバハグ	自然条件調査	国際航業株式会社（補強）
8	西 千秋	社会条件調査／住民参加計画 ／環境社会配慮	国際航業株式会社
9	坂本 大祐	施設計画／施工計画	国際航業株式会社
10	福島 勝輝	機材計画／調達計画／積算	国際航業株式会社（補強）
11	菊池 幸祐	業務調整	国際航業株式会社

資料 2 調査工程

資料2 調査工程

2-1 第1次現地調査日程

第1次現地調査日程：平成23年（2011年）1月10日～平成23年（2011年）3月10日

日付	官団員						コンサルタント団員									
	総括		計画管理Ⅰ		計画管理Ⅱ		業務主任/森林管理計画 /運営維持管理計画		植林計画Ⅰ/土地利用		植林計画Ⅱ		自然条件調査		業務調整	
	羽鳥 祐之		谷口 光太郎		松江 真美		山崎 秀人		鈴木 正志		宇田川 弘勝		デクスター・キャバハグ		菊池 幸祐	
1/10	Mo						移動(成田→ヤンゴン)	移動(成田→ヤンゴン)	移動(成田→ヤンゴン)	移動(成田→ヤンゴン)	移動(成田→ヤンゴン)	移動(成田→ヤンゴン)	移動(成田→ヤンゴン)	移動(成田→ヤンゴン)	移動(成田→ヤンゴン)	移動(成田→ヤンゴン)
1/11	Tu						現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備
1/12	We						現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備	現場踏査準備
1/13	Th	ハ ヤンゴン	移動(成田→ヤンゴン)			ハ ヤンゴン	移動(成田→ヤンゴン)									
1/14	Fr	ハ ヤンゴン	JICA打合せ 水産局訪問			ハ ヤンゴン	JICA打合せ 水産局訪問									
1/15	Sa	ハ ヤンゴン	ヤンゴン→ニャンウー 中央乾燥地現場踏査			ハ ヤンゴン	ヤンゴン→ニャンウー 中央乾燥地現場踏査									
1/16	Su	ハ ヤンゴン	KOICA視察 ニャンウー→ヤンゴン			ハ ヤンゴン	KOICA視察 ニャンウー→ヤンゴン									
1/17	Mo	ハ ボガレ	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査	移動(成田→ヤンゴン)		ハ ボガレ	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査									
1/18	Tu	ハ ボガレ	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査		ハ ボガレ	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査									
1/19	We	ハ ボガレ	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査		ハ ボガレ	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査									
1/20	Th	ハ ボガレ	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査		ハ ボガレ	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査									
1/21	Fr	ハ ボガレ	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査		ハ ボガレ	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査									
1/22	Sa	ハ ボガレ	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査		ハ ボガレ	ヤンゴン→ボガレ 現地踏査									
1/23	Su															
1/24	Mo															

(次頁に続く)

(前頁続き、第1次現地調査日程)

日付		コンサルタント員																					
		業務主任/森林管理計画 /運営維持管理計画		植林計画Ⅰ/土地利用		植林計画Ⅱ		自然条件調査		社会条件調査 /住民参加計画 /環境社会配慮		施設計画/施工計画		機材計画/調達計画 /積算		業務調整							
		山崎 秀人		鈴木 正志		宇田川 弘勝		デクスター・キャバハグ		西 千秋		坂本 大祐		福島 勝輝		菊池 幸祐							
1/25	Tu	カドカンニ ヤンゴン	カドカンニ ヤンゴン	測量調査	カドカンニ	測量調査	カドカンニ	自然条件調査	ヤンゴン	移動(成田→ヤンゴン)	ヤンゴン	移動(成田→ヤンゴン)	ヤンゴン	測量調査	ヤンゴン	業務調整							
1/26	We		現場踏査準備	測量調査		測量調査		自然条件調査		現場踏査準備		見積依頼		業務調整									
1/27	Th		現場踏査準備	測量調査		測量調査		自然条件調査		現場踏査準備		見積依頼		業務調整									
1/28	Fr		現場踏査準備	測量調査		測量調査		自然条件調査		現場踏査準備		見積依頼		業務調整									
1/29	Sa		現場踏査準備	測量調査		測量調査		自然条件調査		現場踏査準備		見積依頼		ヤンゴン→バンコク									
1/30	Su	ヤンゴン チャカンクインバク	測量調査	測量調査	カドカンニ	自然条件調査	ヤンゴン チャカンクインバク	見積依頼	バンコク→成田														
1/31	Mo	チャカンクインバク	社会条件調査	測量調査	ヤンゴン	NGOとの打合せ	カドカンニ	社会条件調査	ヤンゴン	見積依頼	ヤンゴン	見積依頼	ヤンゴン	測量調査	ヤンゴン	業務調整							
2/1	Tu		社会条件調査	測量調査		NGOとの打合せ	カドカンニ	社会条件調査		見積依頼		業務調整											
2/2	We		社会条件調査	測量調査		NGOとの打合せ	カドカンニ	社会条件調査		見積依頼		業務調整											
2/3	Th		社会条件調査	測量調査		NGOとの打合せ	カドカンニ	社会条件調査		見積依頼		業務調整											
2/4	Fr	カドカンニ	現場踏査	測量調査	ヤンゴン	NGOとの打合せ	カドカンニ	社会条件調査	ヤンゴン	現場踏査	カドカンニ	現場踏査	ヤンゴン	現場踏査	ヤンゴン	業務調整							
2/5	Sa		現場踏査	測量調査		NGOとの打合せ	カドカンニ	社会条件調査		現場踏査		現場踏査											
2/6	Su	ヤンゴン	カドカンニ→ヤンゴン	測量調査	カドカンニ	NGOとの打合せ	ヤンゴン	カドカンニ→ヤンゴン	ヤンゴン	カドカンニ→ヤンゴン	ヤンゴン	カドカンニ→ヤンゴン	ヤンゴン	測量調査	ヤンゴン	業務調整							
2/7	Mo		運営維持管理調査	測量調査		移動(ヤンゴン→バンコク)		カドカンニ		資料整理		運営維持管理調査		移動(成田→ヤンゴン)									
2/8	Tu		運営維持管理調査	カドカンニ →ピナラン		測量調査		移動(バンコク→成田)		カドカンニ →ピナラン		カドカンニ →ピナラン		資料整理		見積依頼							
2/9	We		運営維持管理調査	ピナラン		測量調査		ピナラン		自然条件調査		ヤンゴン		資料整理		見積依頼							
2/10	Th	ピナラン	運営維持管理調査	測量調査	ヤンゴン	自然条件調査	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	見積依頼	ヤンゴン	見積依頼	ヤンゴン	測量調査	ヤンゴン	業務調整							
2/11	Fr		運営維持管理調査	測量調査		自然条件調査		ヤンゴン		資料整理		見積依頼		測量調査		業務調整							
2/12	Sa		ヤンゴン →ラフタ	測量調査		自然条件調査		ヤンゴン		資料整理		ラフタ		ヤンゴン →ラフタ		見積依頼	測量調査	ヤンゴン	見積依頼	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
2/13	Su		ラフター ピナラン	測量調査		自然条件調査		ヤンゴン		資料整理		ラフター ピナラン		ラフター ピナラン		見積依頼	測量調査	ヤンゴン	見積依頼	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
2/14	Mo	ピナラン	現場踏査	測量調査	ヤンゴン	自然条件調査	ヤンゴン	資料整理	ピナラン	現場踏査	ピナラン	現場踏査	ピナラン	測量調査	ピナラン	業務調整							
2/15	Tu		ピナラン →チャカンクインバク	測量調査		ピナラン →チャカンクインバク		チャカンクインバク		自然条件調査		チャカンクインバク		ピナラン →チャカンクインバク		見積依頼	測量調査	ピナラン →チャカンクインバク	ピナラン →チャカンクインバク	測量調査	ピナラン	業務調整	
2/16	We	チャカンクインバク	チャカンクインバク →ヤンゴン	測量調査	チャカンクインバク	自然条件調査	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	チャカンクインバク →ヤンゴン	ヤンゴン	チャカンクインバク →ヤンゴン	ヤンゴン	測量調査	ヤンゴン	業務調整							
2/17	Th		環境保全・林業省 打合せ	測量調査		自然条件調査		ヤンゴン		環境保全・林業省 打合せ		見積依頼		環境保全・林業省 打合せ		見積依頼	測量調査	ヤンゴン	見積依頼	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
2/18	Fr		環境保全・林業省 打合せ	測量調査		自然条件調査		ヤンゴン		環境保全・林業省 打合せ		見積依頼		環境保全・林業省 打合せ		見積依頼	測量調査	ヤンゴン	見積依頼	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
2/19	Sa		資料整理	測量調査		自然条件調査		ヤンゴン		資料整理		見積依頼		資料整理		見積依頼	測量調査	ヤンゴン	見積依頼	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
2/20	Su	ヤンゴン	資料整理	測量調査	ヤンゴン	自然条件調査	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	見積依頼	ヤンゴン	見積依頼	ヤンゴン	測量調査	ヤンゴン	業務調整							
2/21	Mo		団内ミーティング	測量調査		自然条件調査		ヤンゴン		団内ミーティング		見積依頼		団内ミーティング		見積依頼	測量調査	ヤンゴン	見積依頼	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
2/22	Tu		運営維持管理調査	チャカンクインバク →ヤンゴン		測量調査		ヤンゴン		チャカンクインバク →ヤンゴン		移動(ヤンゴン→バンコク)		見積依頼		移動(ヤンゴン→バンコク)	見積依頼	測量調査	ヤンゴン	見積依頼	測量調査	ヤンゴン	業務調整
2/23	We		運営維持管理調査	資料整理		資料整理		ヤンゴン		資料整理		移動(バンコク→成田)		見積依頼		移動(バンコク→成田)	見積依頼	測量調査	ヤンゴン	見積依頼	測量調査	ヤンゴン	業務調整
2/24	Th	ヤンゴン	運営維持管理調査	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	測量調査	ヤンゴン	業務調整							
2/25	Fr		運営維持管理調査	資料整理		資料整理		ヤンゴン		資料整理		資料整理		資料整理		資料整理	測量調査	ヤンゴン	資料整理	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
2/26	Sa		資料整理	資料整理		資料整理		ヤンゴン		資料整理		資料整理		資料整理		資料整理	測量調査	ヤンゴン	資料整理	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
2/27	Su		資料整理	資料整理		資料整理		ヤンゴン		資料整理		資料整理		資料整理		資料整理	測量調査	ヤンゴン	資料整理	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
2/28	Mo	ヤンゴン	資料整理	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	測量調査	ヤンゴン	業務調整							
3/1	Tu		資料整理	資料整理		資料整理		ヤンゴン		資料整理		資料整理		資料整理		資料整理	測量調査	ヤンゴン	資料整理	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
3/2	We		資料整理	資料整理		資料整理		ヤンゴン		資料整理		資料整理		資料整理		資料整理	測量調査	ヤンゴン	資料整理	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
3/3	Th		資料整理	資料整理		資料整理		ヤンゴン		資料整理		資料整理		資料整理		資料整理	測量調査	ヤンゴン	資料整理	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
3/4	Fr	ヤンゴン	資料整理	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	測量調査	ヤンゴン	業務調整							
3/5	Sa		資料整理	資料整理		資料整理		ヤンゴン		資料整理		資料整理		資料整理		資料整理	測量調査	ヤンゴン	資料整理	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
3/6	Su	ヤンゴン	ヤンゴン ネービードー	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	ヤンゴン ネービードー	ヤンゴン	ヤンゴン ネービードー	ヤンゴン	測量調査	ヤンゴン	業務調整							
3/7	Mo		環境保全・林業省 打合せ	資料整理		資料整理		ヤンゴン		環境保全・林業省 打合せ		見積依頼		環境保全・林業省 打合せ		見積依頼	測量調査	ヤンゴン	見積依頼	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
3/8	Tu		JICA打合せ	資料整理		資料整理		ヤンゴン		JICA打合せ		JICA打合せ		JICA打合せ		JICA打合せ	測量調査	ヤンゴン	JICA打合せ	測量調査	ヤンゴン	業務調整	
3/9	We		移動(ヤンゴン→バンコク)	移動(ヤンゴン→バンコク)		移動(ヤンゴン→バンコク)		ヤンゴン		移動(ヤンゴン→バンコク)		移動(ヤンゴン→バンコク)		移動(ヤンゴン→バンコク)		移動(ヤンゴン→バンコク)	移動(ヤンゴン→バンコク)	移動(ヤンゴン→バンコク)	移動(ヤンゴン→バンコク)	移動(ヤンゴン→バンコク)	移動(ヤンゴン→バンコク)	移動(ヤンゴン→バンコク)	移動(ヤンゴン→バンコク)
3/10	Th	移動(バンコク→成田)	移動(バンコク→成田)	移動(バンコク→成田)	ヤンゴン	移動(バンコク→成田)	移動(バンコク→成田)	移動(バンコク→成田)	移動(バンコク→成田)	移動(バンコク→成田)	移動(バンコク→成田)	移動(バンコク→成田)	移動(バンコク→成田)	移動(バンコク→成田)	移動(バンコク→成田)	移動(バンコク→成田)							

2-2 第2次現地調査日程

第2次現地調査日程：平成23年（2011年）6月11日～平成23年（2011年）7月10日

日付		業務主任／森林管理計画 ／運営維持管理計画	植林計画Ⅱ	機材計画／調達計画 ／積算	業務調整	
		山崎 秀人	宇田川 弘勝	福島 勝輝	菊池 幸祐	
6/11	Sa	ヤンゴン	移動(成田→バンコク)	ヤンゴン	移動(成田→バンコク)	
6/12	Su		移動(バンコク→ヤンゴン)			移動(バンコク→ヤンゴン)
6/13	Mo		JICA打合せ			JICA打合せ
6/14	Tu	ネービードー	ヤンゴン→ネービードー	ネービードー	ヤンゴン→ネービードー	
6/15	We		環境保全・林業省打合せ		環境保全・林業省打合せ	
6/16	Th	ヤンゴン	ネービードー→ヤンゴン	ヤンゴン	ネービードー→ヤンゴン	
6/17	Fr		現場踏査準備		現場踏査準備	
6/18	Sa		現場踏査準備		現場踏査準備	
6/19	Su		ヤンゴン→カドンカニ		ヤンゴン→カドンカニ	
6/20	Mo	カドンカニ	現場踏査	カドンカニ	現場踏査	
6/21	Tu		現場踏査		現場踏査	
6/22	We		カドンカニ→チャカクインバク		カドンカニ→チャカクインバク	
6/23	Th	チャカクインバク	現場踏査	チャカクインバク	現場踏査	
6/24	Fr		現場踏査		現場踏査	
6/25	Sa		チャカクインバク→ヤンゴン		チャカクインバク→ヤンゴン	
6/26	Su	ネービードー	ヤンゴン→ネービードー	ヤンゴン	移動(成田→ヤンゴン)	
6/27	Mo		環境保全・林業省打合せ		環境保全・林業省打合せ	調達計画調査
6/28	Tu		環境保全・林業省打合せ		環境保全・林業省打合せ	調達計画調査
6/29	We		環境保全・林業省打合せ		環境保全・林業省打合せ	調達計画調査
6/30	Th		ネービードー→ヤンゴン		ネービードー→ヤンゴン	調達計画調査
7/1	Fr	ヤンゴン	資料整理	ヤンゴン	調達計画調査	
7/2	Sa		資料整理		資料整理	調達計画調査
7/3	Su		資料整理		資料整理	調達計画調査
7/4	Mo		資料整理		資料整理	調達計画調査
7/5	Tu		資料整理		資料整理	調達計画調査
7/6	We	ネービードー	ヤンゴン→ネービードー	ネービードー	ヤンゴン→ネービードー	
7/7	Th		環境保全・林業省打合せ		環境保全・林業省打合せ	業務調整
7/8	Fr	ヤンゴン	ネービードー→ヤンゴン JICA打合せ(PM)	ヤンゴン	ネービードー→ヤンゴン JICA打合せ(PM)	
7/9	Sa		移動(ヤンゴン→バンコク)		移動(ヤンゴン→バンコク)	業務調整
7/10	Su		移動(バンコク→成田)		移動(バンコク→成田)	

2-3 第3次現地調査日程

第3次現地調査日程：平成23年（2011年）10月23日～平成23年（2011年）10月29日

日付		官団員		コンサルタント団員	
		計画管理 I		業務主任／森林管理計画 ／運営維持管理計画	機材計画／調達計画 ／積算
		谷口 光太郎		山崎 秀人	福島 勝輝
10/23	Su	バンコク ヤ	移動(成田→ヤンゴン)	バンコク ヤ	移動(成田→ヤンゴン)
10/24	Mo		JICA打合せ		JICA打合せ
10/25	Tu	ネー ピー ド ー	ヤンゴン→ネーピードー(AM) ミニッツ協議(PM)	ネー ピー ド ー	ヤンゴン→ネーピードー(AM) ミニッツ協議(PM)
10/26	We		ミニッツ協議		ミニッツ協議
10/27	Th		署名(AM) ネーピードー→ヤンゴン(PM)		署名(AM) ネーピードー→ヤンゴン(PM)
10/28	Fr	バンコク ヤ	JICA打合せ 夜(ヤンゴン→バンコク)	バンコク ヤ	JICA打合せ 夜(ヤンゴン→バンコク)
10/29	Sa		移動(バンコク→成田)		移動(バンコク→成田)

資料 3 関係者（面会者）リスト

資料3 関係者（面会者）リスト

相手国関係者

Aye Myint Maung	Director General, Forest Department
Nyi Nyi Kyaw	Deputy Director General, Forest Department
Zaw Win	Director General, Planning and Statistics Department
Tin Tun	Deputy Director General, Planning and Statistics Department
Bo Ni	Deputy Director, Planning and Statistics Division, Forest Department
Min Maw	Assistant Director, Planning and Statistics Division, Forest Department
Than Nai	Assistant Director, Planning and Statistics Division, Forest Department
Maung Maung Than	Director, Training and Research Development Division, Forest Department
Win Naing Thaw	Director, Nature and Wildlife Conservation Division, Forest Department
Maung Maung Kyaw	Director, Natural Forest and Planting Division, Forest Department
San Win	Director, Forest Research Institute, Forest Department
Khin Maung Lwin	Myaung Mya Forest Department Officer
Kan Htun	Bogalay Forest Department Officer
Kyi Lin	Pya Pon Forest Department Officer
Aung Myat San	Range Officer, Forest Department
Htay Aung	Range Officer, Forest Department
Myint Oo	Rector, University of Forestry
Htun Win	Director, Aquaculture Division, Department of Fisheries
Tint Wai	Assistant Director, Head of Section, Inspection and Certificate Section, Department of Fisheries
San San Myint	Manager, Myanmar Agriculture Service
Saw Hlaing	Director, Land Settlement and Records Department
Khin Maung Htay	Foreign Economic Relations Department
Ba Kaung	Assistant Director, Dry Zone Greening Department of Mandalay
Mya Win	Assistant Director, Nyaung Oo Township Dry Zone Greening Department

JICA ミャンマー事務所

宮本 秀夫	前所長
田中 雅彦	所長
齋藤 克義	次長
松岡 源	所員
佐藤 恭之	所員

特定非営利活動法人ブリッジ・エーシア・ジャパン (BAJ)

束村 康文	海外事業統括・理事
森 晶子	プログラム・マネージャー

UN RC/HC

Nyunt Nyunt Win	Data Officer
-----------------	--------------

Forest Resource Environment Development and Conservation Association(FREDA)

U OHN	Vice Chaiman
Kyaw Nyein	Professional Assistant

Mangrove and Environmental Rehabilitation Network(MERN)

Dr.Maung Maung Than	Technical Adviser
Aung Thant Zin	Fund Manager

Biodiversity And Nature Conservation Association(BANCA)

U Myint Sein	Field Educator
--------------	----------------

Grow Together Through Networking

Aung Ko Thet	Program Officer
--------------	-----------------

資料 4 討議議事録 (M/D)

資料4 討議議事録 (M/D)

4-1 討議議事録 (M/D) (2011年1月20日)

MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
THE SECOND PREPARATORY SURVEY
ON
MANGROVE REHABILITATION PLAN FOR ENHANCEMENT
OF DISASTER PREVENTION IN THE AYEYAWADY AREA
IN
THE UNION OF MYANMAR

In response to the request from the Government of the Union of Myanmar (hereinafter referred to as "Myanmar"), the Government of Japan decided to conduct the Second Preparatory Survey (hereinafter referred to as "the Second Survey") on the Mangrove Rehabilitation Plan for Enhancement of Disaster Prevention in the Ayeyawady Delta (hereinafter referred to as "the Project"), and entrusted the implementation of the survey to the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA").

JICA dispatched the Second Preparatory Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") to Myanmar. The Team is headed by Mr. Hiroyuki HATORI, Senior Advisor of JICA and is scheduled to stay in the country from 13 January to 9 March 2011.

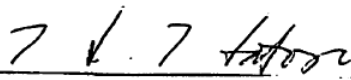
The Team has held series of discussions with the relevant officials of the Myanmar side, and conducted a field survey in the Project area.

As a result of the discussions and the field survey, both sides confirmed the main items described on the attached sheets.


The signing of these Minutes does not imply the commitment of the Japanese side to implement the Project.

The Team will proceed to further works and prepare the Preparatory Survey Report.

Nay Pyi Taw, 20 January 2011



Mr. Hiroyuki HATORI
Leader
The Second Preparatory Survey Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



U Aye Myint Maung
Director General
Forest Department
Ministry of Forestry
The Union of Myanmar

ATTACHMENT

1. Objective of the Project

The objective of the Project is to rehabilitate mangrove ecosystems in the Ayeyawady Delta and to recover the function of disaster prevention and mitigation.

2. Contents of the Inception Report

The Team presented the Inception Report of the Second Survey to the Ministry of Forestry and relevant authorities of the Myanmar side. The Myanmar side agreed to and accepted, in principle, the contents of the Inception Report.

3. Project Title

Both sides agreed to change the project title from “Mangrove Rehabilitation Plan for Enhancement of the Cyclone Nargis Affected Area” to ‘Mangrove Rehabilitation Plan for Enhancement of Disaster Prevention in the Ayeyawady Delta’.

4. Selection of Project Area and Sites

4-1. Both sides confirmed that the following locations and areas will be considered as Project candidate sites within the Ayeyawady Division as indicated in **Annexes 1 to 3**. As for the proposed site i) below, the Myanmar side explained that it was proved that the site of 800 ha is situated not only in Compartment No. 25 but also No. 27 based on the field survey by the Forest Department, Ministry of Forestry. The Team understood the explanation.

i) 800ha of the eastern part of the Kyakankwinpauk Reserved Forest (Compartment Nos: 25 and 27);

ii) 200ha of the south coast of Pyinalan Reserved Forest (Compartment Nos: 63 and 67);
and

iii) 2,400ha of the central part of Kadonkani Reserved Forest (Compartment Nos: 43, 44, 50, 53, 55, 56, 57, 58, 60, 61, 62, 63, 64, 65, and 68)

The total area of Project sites is no more than 3,400ha. The Japanese side will make the final decision on the locations and areas of plantations based on the result of the Second Survey after the consultation with the Myanmar side.

4-2. Both sides confirmed there was no change in the criteria for the site selection and the justification for each prioritised site, as described in Annexes 2 and 3 of the Minutes of Discussions on 9 June 2010 during the First Preparatory Survey on Mangrove Rehabilitation Plan for Enhancement of the Cyclone Nargis Affected Area (hereinafter referred to as “First Survey”). Both sides also agreed to exclude the areas in which the Team would identify any difficulty for plantations during the Second Survey in terms of social and environmental conditions. In particular, the land which is occupied by local people should be, in principle, excluded from the area of plantation.

4-3. Based on the criteria described in the above Item 4-2, each site will be surveyed by the Team. There will be a possibility that community forest be set up within Kyakankwinpauk Reserved Forest in accordance with the Community Forest Instructions if the Team identifies appropriateness for it in terms of socioeconomic conditions as well as relevant laws and regulations. The Japanese side will take this matter into consideration while conducting the Field Survey I.

4-4. The Myanmar side explained that there was no other development plan for the proposed

project area so far. The Japanese side requested not to change land use on that area, and in case it happened, then to secure the same scale of replacement area and replant the same type and amount of trees by Myanmar's own expense. The Myanmar side agreed it.

5. Requested Schedule of Implementation

The Myanmar side confirmed that it expected five (5) years to implement the Project. The Japanese side explained that in that case, 1st year would be for preparation period (i.e. construction of nurseries, observation towers and temporary roads), 2nd to 4th years for planting, and 5th year for follow-up activities including supplementary planting.

6. Responsible and Implementing Agency

6-1. The responsible organization in the Survey stage and the Implementation stage of the Project is the Forest Department, Ministry of Forestry, the Union of Myanmar.

6-2. The Forest Department confirmed their organization has not been changed after the First Survey as indicated in the Minutes of Discussions on 9 June 2010. The organization chart of the Ministry of Forestry and the Forest Department is described in Annex-4.

6-3. The Myanmar side agreed to establish the coordinating system within the Myanmar side to involve other departments concerned as follows for implementing the Project:

- a) Planning and Statistics Department, Ministry of Forestry;
- b) Department of Fisheries, Ministry of Livestock and Fisheries;
- c) Land Settlement and Records Department, Ministry of Agriculture and Irrigation; and,
- d) Myanmar Agricultural Service, Ministry of Agriculture and Irrigation.

The Myanmar side also agreed to submit to JICA the organization charts with roles and responsibilities **by 14 February 2011**.

6-4. If there is any change in policy and/or organization (the Forest Department and other organizations related to the Project) after the establishment of new government scheduled in February 2011, the Forest Department should inform it to the Japanese side via JICA Myanmar Office by a letter immediately.

7. Outcomes of the Project and Items Requested by the Myanmar Side

7-1. After discussion with the Team, the Myanmar side agreed to focus on the four expected outcomes as below, and confirmed the following items as a request to the Japanese side.

- a) To prevent land and river bank from erosion and destruction caused by storms and floods,
- b) To implement preparedness and preventive plans formulated on the basis of experience and lessons learned from cyclones and storms,
- c) To protect and conserve coastal ecosystems and biological diversity through proper management of mangrove forests, and
- d) To provide environmental and economic benefits for local population.

7-2. The following items requested to the Japanese side would be examined by further survey and be analysed by the Team in Japan.

7-2-1. Establishment of plantations in all the candidate sites

- a) Selecting appropriate tree species in each site
- b) Making seedlings

V006
梅

c) Planting and tending works

7-2-2. Construction of Temporal Facilities for the above Item 7-2-1.

The Myanmar side requested to construct temporal facilities (nursery, roads, jetties, facilities for bank erosion, telecommunication facilities and camps), in the proposed project sites. However, the Japanese side explained that such temporal facilities would be considered for the construction and planting works in the Project. The details of those facilities will be estimated by the Team in the Second Survey and be decided by the Japanese side. The Myanmar side understood the explanation.

7-2-3. Construction of Cyclone Shelters with Forest Watch Towers

The Myanmar side explained that they need cyclone shelters as follows based on their necessity:

No.	Number and Site
1.	2 (1 each in Bogalay and Laputta Townships)

The Japanese side requested the Myanmar side to provide a plan or information which includes location, capacity and a reason of this request, to the Japanese side via JICA Myanmar Office by **14 February 2011**. Upon receipt of it, the Japanese side will examine the necessity of these items during their survey and decide the number. The Myanmar side agreed it.

7-2-4. Equipments for Transportation and Construction

No	Item	Number
1	Vehicle	3
2	Truck	3
3	Passenger boat	3
4	Cargo boat	3
5	Heavy Equipment	3

The items Nos. 1 to 5 were requested to provide to the Forest Department. However, the Japanese side explained that construction and planting works would be implemented by a contractor and Item Nos. 2, 4 and 5 were not necessary for the Myanmar side. The Myanmar side agreed that it would explain the details of Item Nos. 1 and 3, such as number, purpose, location, maintenance and a list of existing equipment with the detailed information such as location, number and conditions, and submit it by a letter to JICA Myanmar Office by **14 February 2011**. It will be examined during the Second Survey and the final decision will be decided by the Japanese side.

8. Japan's Grant Aid Scheme

8-1. In the Second Survey, the Team explained the Japan's Grant Aid Scheme for Environment and Climate Change (Project Type) described in **Annex-5**, which will be applied for the Project. The Myanmar side understood the procedures of the Japan's Grant Aid from the application of a request to follow-up of the Project as illustrated in **Annex-6**.

8-2. The Myanmar side will take the necessary measures, as described in **Annex-7** for smooth implementation of the Project, as the condition for the Japan's Grant Aid to be implemented.

MO
均

9. Schedule of the Survey

9-1. The consultant members of the Team will proceed with further studies as a Field Survey I until 9 March 2011.

9-2. Based on the results, the Japanese side will prepare an interim report in English in April 2011, and dispatch a mission in order to explain the results of the Filed Survey I. The consultant members of the Team will conduct further studies as a Field Survey II from late April 2011. The Myanmar side confirmed their assistance in order for the Team to conduct the Field Surveys-I and II without any difficulty.

9-3. As a result of the field surveys, the Japanese side will prepare a draft preparatory survey report in English in July 2011, and dispatch a mission in order to explain its contents to the Myanmar side in August 2011.

9-4. In the case that the contents of the draft report are accepted in principle by the Myanmar side, the Japanese side will finalise the report and send it to the Myanmar side around November 2011.

9-5. The Myanmar side understands that the execution of the Second Survey does not imply the commitment of the Japanese side to implement the Project.

10. Major Undertakings by the Forest Department, Ministry of Forestry

10-1. Regarding the implementation structure of the Project by the Myanmar side, both sides continued to confirm the items shown below as agreed in Annex 7 of the Minutes of Discussions on 9 June 2010:

a) The Myanmar side would assign the appropriate number of staff in the Forest Department, Ministry of Forestry as **Annex-8**. For information on focal points in the other departments and organizations, the Forest Department, Ministry of Forestry will provide to the Japanese side via JICA Myanmar Office **by 14 February 2011**;

b) The Myanmar side would secure the cost of all the meetings related to the Project and expenses (accommodation, travel allowance, etc.) of participants from the Myanmar side;

c) The Myanmar side would secure the necessary budget for the Project and inform the amount of the budget to the Japanese side via JICA Myanmar Office;

d) The Myanmar side would secure and maintain land for the construction of the facilities in the Item 7-2;

e) After completion of the Project, the Myanmar side would own and preserve the property of plantations and facilities constructed or procured under the Japan's Grant Aid. The responsibility for proper operation and maintenance of the facilities will also be undertaken by the Ministry of Forestry. The plantations will be managed either by Community Forest user groups through the Forest Department, Ministry of Forestry, or directly by the Forest Department, Ministry of Forestry; and

f) The Myanmar side would establish a plan of monitoring and post-evaluation for the Project in consultation with the Japanese side.

11. Other Relevant Issues

11-1. Order of the Implementation

Both sides agreed that in order to implement the Project efficiently and effectively, the plantation work would be started from the largest site, the central part of Kadonkani Reserved Forest.

100/
梅

11-2. Tax exemption and Custom Clearance

As agreed in the Minutes of Discussions on 9 June 2010, both sides confirmed that the Myanmar side shall take necessary measures to exempt Japanese nationals who will be engaged in the Project from all duties and related fiscal charges which may be imposed in Myanmar with respect to the import and local procurement of project-specific equipment and services supplied under the verified contract.

Both sides also confirmed that the Myanmar side shall also take necessary measures to implement smooth custom clearance of the materials and equipment for the Project to be imported from Japan or third countries.

11-3. Safety and Security

As agreed in the Minutes of Discussions on 9 June 2010, the Myanmar side promised to take any measures deemed necessary to secure the safety of the Second Preparatory Survey Team members and personnel engaged in the Project.

11-4. Environmental and Social Considerations

The Japanese side explained that the Project was ranked "B" in the JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (the version of April 2004) (hereinafter referred to as "JICA Guidelines") and that the Second Survey should be carried out in accordance with the JICA Guidelines. The Myanmar side committed to take necessary measures for environmental and social consideration based on the JICA Guidelines and obtain the relevant approvals in a timely manner.

The Myanmar side confirmed that it would build consensus with local people in and around the candidate sites regarding mangrove plantation activities.

11-5. Collaboration with the Technical Cooperation Project

Both sides agreed that outputs of the JICA technical cooperation project entitled 'the Integrated Mangrove Rehabilitation and Management Project through Community Participation in the Ayeyawady Delta', should be reflected to the Project in consultation with the JICA technical cooperation experts and counterparts.

11-6. Soft Component Programme

In response to the request from the Myanmar side as indicated in the Minutes of Discussions on 9 June 2010, the Team will study the possibility of soft component programme, such as training for capacity building, and the Japanese side will examine the result. The final decision will be informed to the Myanmar side.

11-7. Monitoring Biodiversity Indicators

Both sides recognised that the Project would contribute mainly to disaster mitigation, but at the same time to mitigation of climate change as well as conservation of biodiversity and ecosystems. Therefore, the Japanese side proposed to include monitoring biodiversity indicators into the Project activities to evaluate effectiveness of the Project from an ecological aspect. The Myanmar side fully agreed to take this idea.

(End of Document)

Attached:

- Annex-1: Map of Selected Sites for Proposed JICA's Grant Aid Project
- Annex-2: Confirmation on the Project sites by the Forest Department
- Annex-3: Confirmation by the Forest Department on the proposed areas of plantation in the Kadonkani Reserved Forest
- Annex-4: The Organization Chart of the Ministry of Forestry and the Forest Department
- Annex-5: Japan's Grant Aid Scheme for Environment and Climate Change (Project Type)
- Annex-6: Flow Chart of Japan's Grant Aid Procedures for Environment and Climate Change (Project Type)
- Annex-7: Major Undertakings to be taken by Each Government
- Annex-8: A List of the Counterparts and Focal Points for the Project

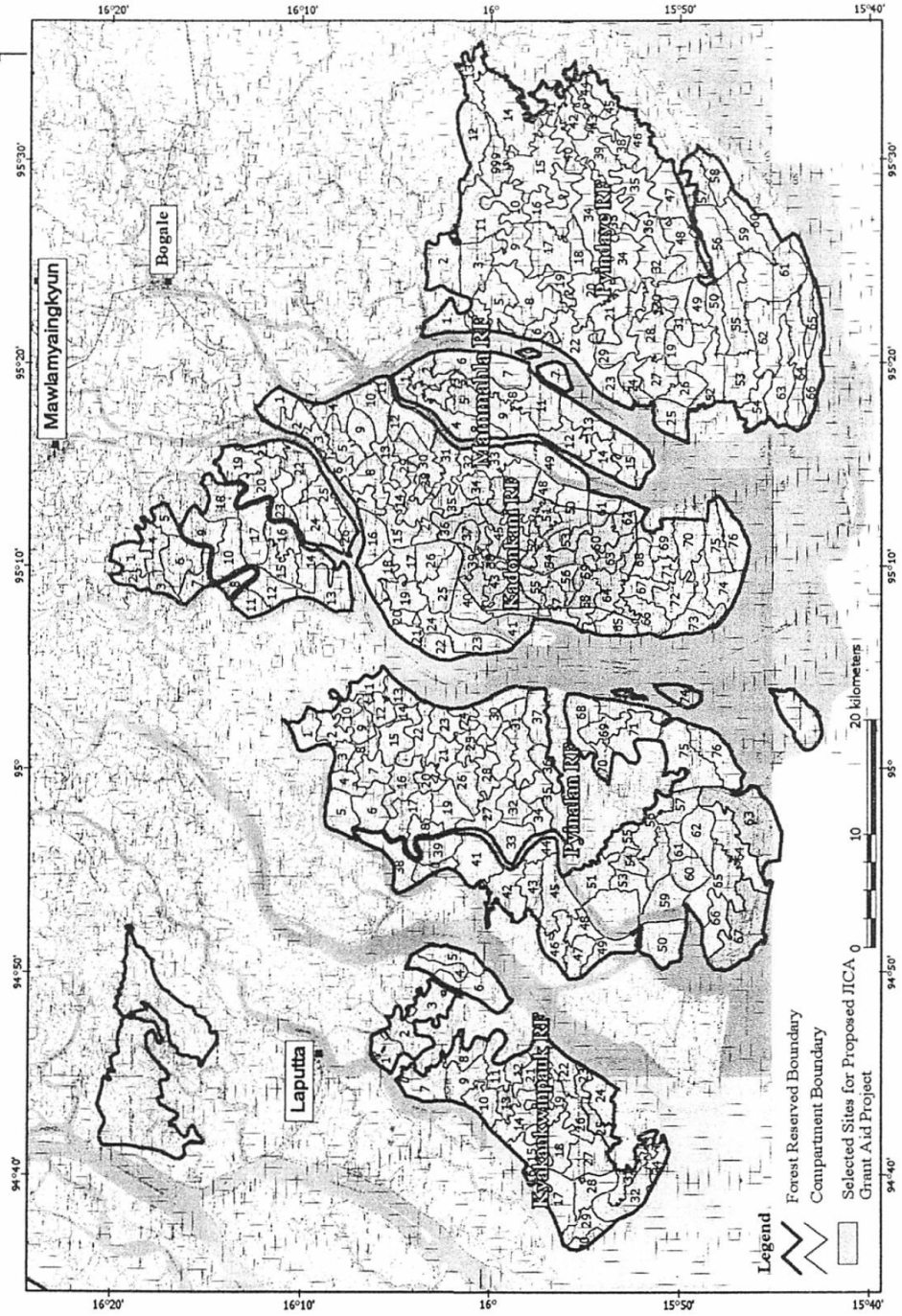
MS
/

陸

50 / 70

Annex-1:

Map of Selected Sites for Proposed JICA Grant Aid Project



13

**Annex-2: Confirmation on the Project sites by the Forest Department,
Ministry of Forestry**

FROM :

FAX NO. :

14 Jul. 2010 3:47PM P1

Telephone
Director General
-067-405018
Director (Planning)
-067-405999

Government of the Union of Myanmar
Ministry of Forestry
Forest Department
Headquarters Office of Director General
Nay Pyi Taw

Fax: 067-405017,
067-405016
E-Mail:
dgs.f@mpf.mta.net.mm

Reference: Planning/0201(6317-18)2010
Date: 13. 7. 2010

Mr. Hideo MIYAMOTO
Chief Representative
JICA Myanmar Office

**Subject; Confirmation of the Sites for implementation of Proposed Grant Aid
Project in the Ayeyarwady Delta**

As mentioned at the last sentence of sub title 2, Page No. 1 in the Minutes of Discussion signed between the Director General of Forest Department and the Leader of the First Preparatory Survey Team of JICA, Japan, on 9 June 2010, I hereby kindly inform you that Forest Department selects following Sites for the implementation of the proposed project.

1. Site 1: 800 ha of compartment No. 25, at south-eastern edge of Kyakankwinpauk Forest Reserve, Laputta Township, Ayeyawady Division
2. Site 3: 2400 ha in total of bare land in central part of Kadonkani Forest Reserve, Bogalay Township, Ayeyawady Division

The selected Sites are in titled with selection criteria mentioned in annex .2 of the Minutes of Discussion; and I will be very obliged if you kindly convey this information to officials of JICA Headquarters for the further processes necessitated to materialize the proposed project.

With best regards

For Director General

[Signature]
13. 7. 2010

Zaw Win (4)
Director
Planning and Statistics Division
Forest Department

CC: *[Signature]*

1. Deputy Director General; 2. Director General's Office; 3. Office Copy

13

13

Annex-3: Confirmation by the Forest Department on the proposed areas of plantation in the Kadonkani Reserved Forest

Areas of selected compartments and designated plantation areas to be established in the compartments of Kadonkani Reserved Forest

for

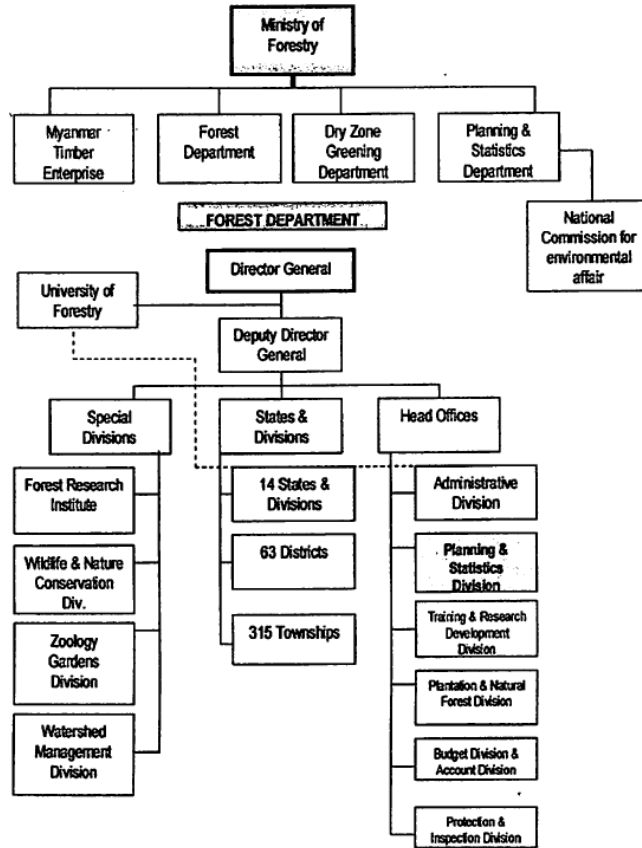
Proposed Grant Aid Project

No.	Compartment No.	Total Area (acre)	Area (acre) to be planted
1.	43	1518	600
2.	44	1576	200
3.	50	3296	300
4.	53	1280	700
5.	55	1805	300
6.	56	1235	500
7.	57	1949	400
8.	58	1957	400
9.	60	2198	800
10.	61	1599	100
11.	62	1880	200
12.	63	2021	300
13.	64	2994	900
14.	65	2101	200
15.	68	1567	100
	Total	28976 acres	6000 acres = 2400 ha

mw
10/10

Annex-4: The Organization Chart of the Ministry of Forestry and the Forest Department

Organization Chart of Ministry of Forestry and Forest Department



ms

Annex-5: Japan's Grant Aid Scheme for Environment and Climate Change (Project Type)

The Government of Japan (hereinafter referred to as "the GOJ") is implementing the organisational reforms to improve the quality of ODA operations, and as a part of this realignment, a new JICA law was entered into effect on October 1, 2008. Based on this law and the decision of the GOJ, JICA has become the executing agency of the Grant Aid for General Projects, for Fisheries and for Cultural Cooperation, etc.

The Grant Aid is non-reimbursable fund provided to a recipient country to procure the facilities, equipment and services (engineering services and transportation of the products, etc.) for its economic and social development in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. The Grant Aid is not supplied through the donation of materials as such.

1. Grant Aid Procedures

The Japanese Grant Aid is supplied through following procedures:

- Preparatory Survey
 - The Survey conducted by JICA
- Appraisal & Approval
 - Appraisal by the GOJ and JICA, and Approval by the Japanese Cabinet
- Authority for Determining Implementation
 - The Notes exchanged between the GOJ and a recipient country
- Grant Agreement (hereinafter referred to as "the G/A")
 - Agreement concluded between JICA and a recipient country
- Implementation
 - Implementation of the Project on the basis of the G/A

2. Preparatory Survey

(1) Contents of the Survey

The aim of the preparatory Survey is to provide a basic document necessary for the appraisal of the Project made by the GOJ and JICA. The contents of the Survey are as follows:

- Confirmation of the background, objectives, and benefits of the Project and also institutional capacity of relevant agencies of the recipient country necessary for the implementation of the Project.
- Evaluation of the appropriateness of the Project to be implemented under the Grant

mo
確

Aid Scheme from a technical, financial, social and economic point of view.

- Confirmation of items agreed between both parties concerning the basic concept of the Project.
- Preparation of a basic design of the Project.
- Estimation of costs of the Project.

The contents of the original request by the recipient country are not necessarily approved in their initial form as the contents of the Grant Aid project. The Basic Design of the Project is confirmed based on the guidelines of the Japan's Grant Aid scheme.

JICA requests the Government of the recipient country to take whatever measures necessary to achieve its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even though they may fall outside of the jurisdiction of the organization of the recipient country which actually implements the Project. Therefore, the implementation of the Project is confirmed by all relevant organizations of the recipient country based on the Minutes of Discussions.

(2) Selection of Consultants

For smooth implementation of the Survey, JICA employs (a) registered consulting firm(s). JICA selects (a) firm(s) based on proposals submitted by interested firms.

(3) Result of the Survey

JICA reviews the Report on the results of the Survey and recommends the GOJ to appraise the implementation of the Project after confirming the appropriateness of the Project.

3. Japan's Grant Aid Scheme

(1) The E/N and the G/A

After the Project is approved by the Cabinet of Japan, the Exchange of Notes(hereinafter referred to as "the E/N") will be signed between the GOJ and the Government of the recipient country to make a pledge for assistance, which is followed by the conclusion of the G/A between JICA and the Government of the recipient country to define the necessary articles to implement the Project, such as payment conditions, responsibilities of the Government of the recipient country, and procurement conditions.

(2) Selection of Consultants

In order to maintain technical consistency, the consulting firm(s) which conducted the Survey will be recommended by JICA to the recipient country to continue to work on the

MO
国

Project's implementation after the E/N and G/A.

(3) Eligible source country

Under the Japanese Grant Aid, in principle, Japanese products and services including transport or those of the recipient country are to be purchased. When JICA and the Government of the recipient country or its designated authority deem it necessary, the Grant Aid may be used for the purchase of the products or services of a third country. However, the prime contractors, namely, constructing and procurement firms, and the prime consulting firm are limited to "Japanese nationals".

(4) Necessity of "Verification"

The Government of the recipient country or its designated authority will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be verified by JICA. This "Verification" is deemed necessary to fulfill accountability to Japanese taxpayers.

(5) Major undertakings to be taken by the Government of the Recipient Country

In the implementation of the Grant Aid Project, the recipient country is required to undertake such necessary measures as Annex.

(6) "Proper Use"

The Government of the recipient country is required to maintain and use properly and effectively the facilities constructed and the equipment purchased under the Grant Aid, to assign staff necessary for this operation and maintenance and to bear all the expenses other than those covered by the Grant Aid.

(7) "Export and Re-export"

The products purchased under the Grant Aid should not be exported or re-exported from the recipient country.

(8) Banking Arrangements (B/A)

a) The Government of the recipient country or its designated authority should open an account under the name of the Government of the recipient country in a bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). JICA will execute the Grant Aid by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by the Government of the recipient country or its designated authority under the Verified Contracts.

b) The payments will be made when payment requests are presented by the Bank to JICA under an Authorization to Pay (A/P) issued by the Government of the recipient country or its designated authority.

MO
梅

(9) Authorization to Pay (A/P)

The Government of the recipient country should bear an advising commission of an Authorization to Pay and payment commissions paid to the Bank.

(10) Social and Environmental Considerations

A recipient country must carefully consider social and environmental impacts by the Project and must comply with the environmental regulations of the recipient country and JICA socio-environmental guidelines.

MO
✓

植

Annex-6: Flow Chart of Japan's Grant Aid Procedures for Environment and Climate Change (Project Type)

Stage	Flow & Works	Recipient Government	Japanese Government	JICA	Consultant	Contract	Others
Application	Request (T/R : Terms of Reference)	✓					
	Screening of Project → Evaluation of T/R → Project Identification Survey*		✓	✓			
Project Formulation & Preparation	Preparatory Survey	Preliminary Survey* → Field Survey Home Office Work Reporting	✓	✓	✓		
		Outline Design → Selection & Contracting of Consultant by Proposal → Field Survey Home Office Work Reporting	✓	✓	✓	✓	
		Explanation of Draft → Final Report	✓	✓	✓	✓	
Appraisal & Approval	Appraisal of Project		✓	✓			
	Inter Ministerial Consultation		✓				
	Presentation of Draft Notes	✓	✓				
	Approval by the Cabinet		✓				
Implementation	E/N and G/A (E/N: Exchange of Notes, G/A: Grant Agreement)	✓	✓	✓			
	Banking Arrangement (A/P: Authorization to Pay)	✓					✓
	Consultant Contract → Verification → Issuance of A/P	✓		✓	✓		
	Detailed Design & Tender Documents → Approval by Recipient Government → Preparation for Tendering	✓		✓	✓		
	Tendering & Evaluation	✓		✓	✓	✓	
	Procurement / Construction Contract → Verification → A/P	✓		✓	✓	✓	
	Construction → Completion Certificate → A/P	✓		✓	✓	✓	
	Operation → Post Evaluation Study	✓		✓			
	Ex-post Evaluation	✓	✓	✓			
	Follow up						

1/31

Annex-7: Major Undertakings to be taken by Each Government

NO.	Items	To be covered by Grant A id	To be covered by Recipient Site
1	To secure land		●
2	To clear, level and reclaim the site when needed		●
3	To withdraw the existing titanium mining facilities in the Project sites and to level their areas after the withdrawal		●
4	To construct gates and fences in and around the site where necessary		●
5	To bear the following commissions to the Japanese bank for banking services based upon the B/A		
	1) Advising commission of A/P		●
	2) Payment commission		●
6	To ensure unloading and customs clearance at port of disembarkation in recipient country		
	1) Marine (Air) transportation of the products from Japan the recipient	●	
	2) Tax exemption and customs clearance of the products at the port of disembarkation		●
	3) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	●	
7	To accord Japanese nationals, whose service may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contract, such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work		●
8	To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contracts		●
9	To maintain and use properly and effectively the facilities contracted and equipment provided under the Grant		●
10	To bear all the expenses, other than those to be born by the Grant, necessary for construction of the facilities as well as for the transportation and installation of the equipment		●
11	To construct roads		
	1) Within the site	●	
	2) Outside the site		●
12	To construct the building and to plant trees	●	
13	To provide facilities for the distribution of electricity, water supply, drainage and other incidental facilities		
	1) Electricity		
	a. The distributing line to the site		●
	b. The drop wiring and internal wiring within the site	●	
	c. The main circuit breaker and transformer	●	
	2) Water supply		
	a. The city water distribution main to the site		●
	b. The supply system within the site (receiving and/or elevated tanks)	●	
	3) Drainage		
	a. The city drainage main (for storm, sewer and others) to the site		●
	b. The drainage system (for toilet sewer, ordinary waste, storm drainage and others) within the site	●	
	4) Gas Supply		
	a. The city gas main to the site		●
	b. The gas supply system within the site	●	
	5) Telephone System		
	a. The telephone trunk line to the main distribution frame/panel (MDF) of the building		●
	b. The MDF and the extension after the frame/panel	●	
	6) Furniture and Equipment		
	a. General furniture		●
	b. Project equipment	●	

Annex-8: A List of Counterparts and Focal Points for the Project

I. Counterparts for the Project

Forest Department, Ministry of Forestry

U Aye Myint Maung	Director General
Dr. Nyi Nyi Kyaw	Deputy Director General
U Zaw Win (4)	Director, Planning and Statistics Division
U Bo Ni	Deputy Director, Planning and Statistics Division
U Min Maw	Assistant Director, Planning and Statistics Division
U Tual Cin Kai	Staff Officer, Planning and Statistics Division
U Htay Aung	Range Officer, Planning and Statistics Division

Myaung Mya District Forest Department

U Khin Maung Lwin	Assistant Director
U Hla Myo Aung	Staff Officer

Bogalay Township Forest Department

U Kan Htun	Staff Officer
U Myo Min Tun	Range Officer
U Kyaw Kyaw Myo	Range Officer

Laputta Township Forest Department

U Aung Gyi	Staff Officer
U Than Min Aye	Range Officer
U Hla Shwe	Range Officer

II. Focal Points for the Project

Planning and Statistics Department, Ministry of Forestry

Department of Fisheries, Ministry of Livestock and Fisheries

Land Settlement and Records Department, Ministry of Agriculture and Irrigation

Myanmar Agricultural Service, Ministry of Agriculture and Irrigation

M/D
✓

傳